

トピックス1

4月から停留所を2か所増設 上野三碑めぐりバス



上野三碑のラッピングが目印

多胡碑・山上碑・金井沢碑を結ぶ「上野三碑めぐりバス」。上信電鉄吉井駅を起点に、午前9時からおよそ45分間隔で1日8往復します。費用は無料です。

4月1日(休)から、吉井支所と産業技術専門学校(西山名駅)の2つの停留所を新設。運行予定など詳しくは、市ホームページで確認できます。

バスの運行状況などに関する問い合わせは、上信ハイヤー(☎322-1212)へ。



碑の解説を行っているボランティアに聞きました



上野三碑ボランティア会
会長 横田 公一さん

1,300年も前に作られた碑が残っているなんて、本当にすごいですよ。刻まれた文字は、今でも肉眼で見ることができるんです。日曜日などには、私たちボランティアが碑の解説を行っています。ぜひ3つの碑を訪れてください。



小暮の穴薬師



産業技術専門学校(西山名駅)からは、上野三碑かるたに読まれている「小暮の穴薬師」や「山名古墳群」などの史跡も近い

トピックス2

上野三碑かるたの 読み上げアプリを公開

上野三碑かるたの読み札を一枚ずつ読み上げるアプリ「上野三碑かるた よみあげ」が完成しました。順不同で札を読み上げ、読み手がなくてもかるたで遊べます。ダウンロードや利用は無料です(通信料は利用者負担)。



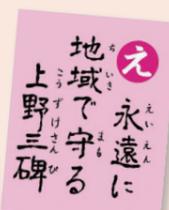
Android用



iOS用



えいえんにー
ちいきでまもるー
こうすけさんびー



上野三碑かるたとは

上野三碑や郷土の魅力を多くの人に知ってもらおうと制作。6,751件の応募の中から選ばれた44組の札には、三碑に関わる文化財などが読まれています。価格は1セット880円(消費税込み)で、多胡碑記念館や県内の主要書店で販売中。遊びながら学べる上野三碑かるたに、ぜひ挑戦してみてください。

千三百年の時を超えて 古代の記憶を伝える 石碑群「上野三碑」



やまのうえひ
山上碑 681年

ほぼ完全な形で残る日本最古の石碑。刻まれた碑文53字は日本語の語順で読むことができる。僧侶の長利が、亡き母の黒壳刀自を供養するために建てたもの。黒壳刀自は隣接する山上古墳に葬られたと考えられる。供養の石碑と古墳が残る国内唯一の例



たごひ
多胡碑 711(和銅4)年頃

日本三古碑の一つ。石碑は、笠石・碑身・台石からなり、牛伏砂岩に80字が刻まれている。当時の中央政府の命により、多胡郡が新設されたことを記念して建てられたもの。その優れた書風は、江戸時代に朝鮮通信使を通じて中国でも評判となった



かないざわひ
金井沢碑 726(神亀3)年

古代豪族三家氏が、先祖供養のため建立したもので、仏教によってつながった人々の様子が刻まれている。三家氏は山上碑に記された「佐野三家」(ヤマト政権の地方支配拠点)を管理した豪族の末裔とみられる。県内で初めて「群馬」の文字が使われた

世界も認めた三碑の価値
平成29年にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑。飛鳥から奈良時代に建立された「山上碑」「多胡碑」「金井沢碑」の総称で、日本最古の石碑群です。いずれも国の特別史跡に指定されています。全国に現存する古代碑・石塔はわずか18例。そのうちの3つの碑が本市の直径3キロ以内で集中して、その関連性などから読み解ける歴史的价值は非常に高いものです。

無料のバスで巡れます
市は、三碑の見学に便利な無料の巡回バス「上野三碑めぐりバス」を運行しています(左ページ参照)。また、山上

多胡碑記念館を無料開館中
多胡碑記念館は、来年3月31日(木)まで無料の開館期間を延長します。三碑に関する資料や多胡郡正倉の出土品を展示しています。

●開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで) ●休館日 月曜日(祝日は開館し、翌日休館)、年末年始 ●問い合わせ先 同館(☎387-4928)



市ホームページ

高崎市が誇る古碑で、ユネスコ「世界の記憶」に登録されている上野三碑。市や上野三碑普及推進会議は、上野三碑に親しんでもらおうと、三碑を巡るバスの運行やパンフレット・かるたの作成など、さまざまな取り組みを行っています。

今回号では、3つの碑の概要とバスの停留所の増設、かるたの読み上げアプリについてお知らせします。問い合わせは、文化財保護課(☎321-1292)へ。